

平成26年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 行計対象

事務事業名 (中事業)	18890 西脇市駅西駐車場振興事業				
基本政策	05 快適な暮らしを支える生活基盤が充実したまち				
政策	02 円滑な移動を支える公共交通				
施策	02 公共交通機関の利用促進				
実施形態	補助・負担金				
事業期間	単年度	平成24年度～			
要求区分	継続	予算区分	政策		
事業の実施を市に義務づける国の法令					
有無	なし				
法令名 条 項					
予算科目	01-020111-010100				
部 名	01 ふるさと創造部	課 名	01 企画政策課		
課長名	細川 喜美博	T E L	0795-22-3111	内線	226

2. 対象・目的・内容

事業概要	JR加古川線のパークアンドライドの拠点である西脇市駅西駐車場について、運営を行う野村町に対し一定の経費(赤字分)を補助金として交付し、運営の振興を図る。
事業の対象 (誰・何を)	・西脇市駅西駐車場を運営する野村町自治会
事業の目的 (どういう状態にするために)	・西脇市駅西駐車場をパークアンドライドの拠点として、JR加古川線及び同駐車場の利用促進を図る。
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	・西脇市駅西駐車場を運営する野村町に対し、一定のルールの下で運営に係る経費(赤字分)を補助金として交付する。

3. 年度別事業費

(単位: 千円)

	事業費							
	国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源	
平成23年度決算額	0	-	-	-	-	-	-	-
平成24年度決算額	2,000	0	0	0	0	0	0	2,000
平成25年度決算額	0	0	0	0	0	0	0	0
平成26年度予算額	1,000	0	0	0	0	0	0	1,000

4. 総コストの概算

(単位: 千円)

平成25年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成25年度決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.05	0.00	0.05	390	0	390
事業費の主な用途		補助金			

平成26年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指標名	西脇市駅西駐車場使用料収入				単位	千円
	説明や数式	時間貸や月貸(定期)による使用料収入					
	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標値	3,600	3,600	3,600	3,600		
	実績値	3,333	3,545				
	経費(千円)	2,390	0				
単位当たりのコスト	0.72	0					
活動 指標 ②	指標名					単位	
	説明や数式						
	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標値						
	実績値						
	経費(千円)						
単位当たりのコスト							
成果 指標 ①	指標名	JR西脇市駅の一日当たり利用者数				単位	人
	説明や数式	一日当たりの駅利用者					
	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標値	700	700	719	726		
	実績値	696	712				
	経費(千円)	2,390	0				
単位当たりのコスト	3.43	0					
成果 指標 ②	指標名					単位	
	説明や数式						
	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標値						
	実績値						
	経費(千円)						
単位当たりのコスト							
実績・成果等の説明	25年度は使用料収入の増加等により、補助金の支出がなかった。 また、JR西脇市駅の利用者数もわずかながら増加に転じており、現時点では望ましい状態にあるといえる。						

6. 評価

1 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	3
		直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	3
	事業の総合評価	継続実施					
説明	本事業については、野村町自治会の自主運営事業とはいえ委託的な要素が強く、また駐車場は西脇市駅のパークアンドライドの拠点として大きな意味を持つことから、運営に赤字が発生した場合の補填となる補助金の支出は必要と考えている。						
2 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
		直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	3
	事業の総合評価	改善・見直し					
説明	人口減少が進む中、使用料収入、市駅利用者ともに増加し、一定の成果をあげている。また、25年度は補助金の支出がなくなり、評価できる。駐車料金は、周辺民間駐車場と同水準であり、均衡がとれている。さらに、野村町自治会の自主運営事業であり、少ない利益を積み立てて将来の赤字に備える努力もなされている。ただ、当該事業は、赤字補てんの補助のみならず、黒字運営に導く方策を助言することも必要である。市の本来の目的である市駅利用者の増加に向けた取組を進め、結果として駐車場利用者の増加につなげるような取組を図られたい。						